

## 令和5年度 学校図書館基本計画・評価シート

足立区立青井小学校 校長 鯉沼 哲

## 1 学校教育目標

- ① よく考える子：人の考えを聞き、自分の考えを正しく伝えることができる子／課題をもち、筋道立てて考えることができる子  
自ら学び、多面的なものごとを考え、工夫することができる子
- ② 思いやりのある子：相手の立場を考え、思いやりの心をもつことができる子／集団の規律の意味を理解し、協力することができる子／友達と仲良くし、人に迷惑をかけないようにすることができる子
- ③ たくましい子：明るく素直な心と健康な体をつくることができる子／計画を立てて、最後までやり抜くことができる子  
勤労の意味を理解し、進んで働くことができる子

## 2 学校図書館の目標・ねらい ー身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度ー

- ① 児童の読書に対する意欲を盛んにし、豊かな心情と幅広い知識を身に付けさせる。
- ② 多様な資料から目的に応じた情報を選んで課題解決する能力を伸ばす。
- ③ 様々な取り組みを通して本の楽しさに触れ、日常的に本に親しむ態度を育てる。
- ④ 学校図書館及び校内の図書に関わる環境を整え、児童の読書に対する意欲を高める。

## 3 学校図書館の現状（令和4年度末）

蔵書状況	① 蔵書数10,101冊(蔵書基準冊数8,360冊)／蔵書率121%(前年度116%)									
	② 新規購入図書 519冊／廃棄図書 998冊／増減冊数 143冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	1,4%	1,6%	7,9%	7%	10,5%	4,2%	2,6%	7,4%	2,9%	55,3%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	② 開館時間：8時45分～15時05分									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 39.9冊(前々年度末：38.2冊)									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 87.5%(前々年度末：89.8%)									

## (令和5年度末)

蔵書状況	① 蔵書数10,775冊(蔵書基準冊数8,360冊)／蔵書率129%									
	② 新規購入(寄贈)図書 563(149)冊／廃棄図書 40冊／増減冊数672冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	1%	2%	8%	7%	10%	4%	3%	7%	4%	54%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	② 開館時間：8時45分～15時05分 (前年度からの変更 あり・なし)									
	③ 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 35.9冊(前年度末：39.9冊)									
	④ 1か月に2冊以上読む児童 53.9%(前年度末：87.5%)									

## 4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	①読みやすい読み物に興味をもち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。 ②学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用する態度を育てる。	
今年度の成果目標	達成基準	
① 学校図書館を使う授業により、本を手取る機会が増える。 ② 学校図書館の本を利用し、読書をする経験を重ねる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を知る。	①各クラス月に2回以上、読書等の授業を学校図書館で行う。 ②読書週間等を利用して、年間一人あたり25冊以上の本を読む。 ③学校図書オリエンテーションの学級実施率100%。	

<b>目標達成状況</b>	
<p>① 教科書に載っている学習内容に関連する本を増やすことで児童の本を読む機会を増やすことができた。また、毎週の図書の時間に支援員による本の読み語りや紹介を行い、児童の本に関する興味関心の向上に努めた。</p> <p>② 国語での読書指導を中心にした学級での図書館利用や図書委員会のスタンプラリーなどの取り組みに積極的に参加し、本に親しむ姿が見られた。年間の貸し出し冊数が一人あたり平均50冊と基準を大きく上回った。</p> <p>③ 年度初めに図書支援員によるオリエンテーションを行った。図書室を実際に利用することで本の貸出や返却の仕方を知ることができた。</p>	
<b>第2学年</b>	<p>① 読みやすい読み物に興味をもち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。</p> <p>② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用する態度を育てる。</p>
<b>今年度の成果目標</b>	<b>達成基準</b>
<p>① 学校図書館を使う授業により、本を手にする機会が増える。</p> <p>② 学校図書館の本を利用し、読書をする経験を重ねる。</p> <p>③ 学校図書館の利用の仕方を知る。</p>	<p>①各クラス月に2回以上、読書や探究活動の授業で学校図書館を活用する。</p> <p>②読書週間等を利用して、年間一人あたり30冊以上の本を読む。</p> <p>③学校図書オリエンテーションの学級実施率100%。</p>
<b>目標達成状況</b>	
<p>① 毎週の図書の時間に支援員による本の読み語りや紹介を行い、児童の本に関する興味関心の向上に努めた。一人当たりの貸出数の平均は48冊と基準を上回った。</p> <p>② 国語「本で調べよう」の単元では自分が決めたテーマに沿って調べ学習をし、発表し合うことができた。</p> <p>③ 支援員による本の探し方や目次の見方などが分かるオリエンテーションを行い、学校図書館の使い方について知ることができた。</p>	
<b>第3学年</b>	<p>① いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。</p> <p>② きまりを守り、進んで学校図書館を利用しようとする態度を養い、資料や情報を集めて活用できる力を育てる。</p>
<b>今年度の成果目標</b>	<b>達成基準</b>
<p>① 自分の興味のある分野だけでなく、それに関連する本についても興味・関心をもって親しもうとする態度を育てる。</p> <p>② 辞典や図鑑などから分かったことをまとめることができる。</p> <p>③ 学校図書館の利用の仕方やきまりを守りながら、読書することができる。</p>	<p>①各クラス月に2回以上、読書や探究活動の授業で学校図書館を活用する。</p> <p>③読書週間を利用して、年間一人あたり35冊以上の本を読む。</p>
<b>目標達成状況</b>	
<p>① 月2回以上学校図書館を利用し、支援員による読み語りと本の紹介を行った。また、自分の好きな本だけでなく、国語や総合的な学習の時間に情報を集めるために学校図書館を利用することができた。</p> <p>③ 一人当たりの貸出数の平均は67冊と基準を大きく上回った。国語での読書指導を中心にした学級での図書館利用や図書委員会のスタンプラリーなどの取り組みに積極的に参加し、本に親しむ姿が見られた。</p>	
<b>第4学年</b>	<p>① いろいろな読み物に興味をもち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。</p> <p>② きまりを守り、進んで学校図書館を利用しようとする態度を養い、多様な資料や情報を収集・活用することができるようにする。</p>
<b>今年度の成果目標</b>	<b>達成基準</b>
<p>① 自分の興味のある本だけでなく、これまでに読んだ経験のない分野の本についても読むことができる。</p> <p>② 辞典や図鑑等から分かったことをまとめ、他者に説明することができる。</p> <p>③ 学校図書館の利用の仕方やきまりを守りながら、読書することができる。</p>	<p>① 各クラス月に2回以上、読書や探究活動の授業で学校図書館を活用する。</p> <p>② 読書週間を利用して、年間一人あたり40冊以上の本を読む。</p> <p>③ 調べる学習コンクールに参加する学年児童の割合90%以上。</p>
<b>目標達成状況</b>	

① 自主学習の課題達成に向けて、自分の選んだテーマに沿って調べ、まとめるために本を多く活用することができた。 ② 個人差はあるが、年間の貸し出し冊数が一人あたり平均20冊と基準を下回った。 ③ 今年度は学年全体で調べる学習コンクールに向けての調べ学習、作品作りを授業内で行い、全員(100%)が、探究的な学習に取り組み、コンクールに参加することができた。	
<b>第5学年</b>	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用しようとする態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
<b>今年度の成果目標</b>	<b>達成基準</b>
① 興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ② 複数の本や新聞等から分かったことをまとめることができる。 ③ より良い学校図書館の利用方法について考えることができる。	① 各クラス月に1回以上、読書や探究活動の授業で学校図書館を活用する。 ② 読書週間を利用して、年間一人あたり50冊以上の本を読む。
<b>目標達成状況</b>	
① 総合的な学習で自分が知りたい情報を集める際、学校図書館の本を有効的に活用することができた。 ② 文学や図鑑など様々な種類の本に興味をもち、平均して年間10冊の本は読んでいたが、図書館の貸出率は低・中学年と比較して低く、課題となっている。調べ学習をする際は、学年でまとめて学校図書館から70冊以上借りることができた。	
<b>第6学年</b>	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
<b>今年度の成果目標</b>	<b>達成基準</b>
① 興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ② 複数の本や新聞等から分かったことをまとめることができる。 ③ より良い学校図書館の利用方法について考えることができる。	① 各クラス月に1回以上、読書や探究活動の授業で学校図書館を活用する。 ② 読書週間を利用して、年間一人あたり50冊以上の本を読む。
<b>目標達成状況</b>	
① 社会科、国語科、総合的な学習の時間、に自分で選んだテーマについてまとめる課題を出したところ、インターネットと本の情報を組み合わせ、正しい情報を収集できるようになった。 ② 文学や図鑑など様々な種類の本に興味をもち、平均して年間11冊の本は読んでいたが、図書館の貸出率は低・中学年と比較して低く、課題となっている。国語科「伝記」の学習など調べ学習をする際は、学校図書館の本を活用することができた。	

<b>5 学校図書館環境整備に関する取組計画・方針及び成果・効果</b>	
<b>取組計画・方針</b>	<b>成果・効果</b>
<b>【蔵書・配架等に関すること】</b> ・蔵書の分類冊数に偏りがあるため、来年度も引き続き国基準に達していない分類を中心に購入を進めていく。 ・長期休業の間の貸し出しを増やしたり、図書委員会と連携し、本に関する企画を行ったりすることで、本に触れる機会を増やしていく。	・図書館の蔵書については、国基準に達していない分類を中心に、児童や教職員の希望をもとに選書リストを作成し新規図書購入計画を作成することができた。校内の蔵書を整理し、廃棄図書の選定を行った。 ・図書館支援員や図書ボランティアの方と協力して、季節や学校活動に関わる本の特集コーナーの設置や展示などを作り、児童の読書への興味関心を高める工夫をすることができた。 ・国語科の教科書に掲載されている本を集めたコーナーを整備し、授業で活用できるようにした。

<p><b>【学校図書館支援員との連携・協働】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の関心が高い種類の本や足りていない本などのデータを毎月分析し、今年度の蔵書の購入を検討する。</li> <li>・未返却や不明本が出ないように必ず貸し出し処理を行ったり、返却期間を過ぎないように、月ごとに声を掛けたりと蔵書管理を徹底していく。</li> <li>・時期に合った展示を行い、児童の関心を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・読み語りの内容の選定や学校図書館内の配置について毎月のオリエンテーションで打ち合わせを行った。</li> <li>・図書館支援員への授業に関わる資料収集の依頼や授業支援の依頼など教職員から話を伺い、円滑に情報交換をすることができた。</li> </ul>
<p><b>【その他】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書ボランティアの方々と連携し、朝の読み語りや大お話し会（お話し劇やパネルシアターなど）を教育活動の一環として実施する。</li> <li>・授業内でのさまざまな読書指導の方法を教員に示し、指導の改善を図っていく。</li> <li>・貸出の約束について全児童、教職員に周知をし、本の扱いについて意識を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書ボランティアの方々と連携し、朝の読み語りや大お話し会（10月学校公開期間）を教育活動の一環として実施した。</li> <li>・図書委員で「おすすめの本の紹介」「読書スタンプラリー」「POP作り」に取り組み、読書活動の推進に力を入れた。</li> <li>・未返却本を定期的に確認し、紛失本を少なくした。</li> </ul>

**6 学校図書館運営全体に関する自己評価（成果・課題・改善の方向性等）**

- ・児童の興味のある貸し出し冊数が多い種類の本を増やしたり教科書に関係する本を購入したりすることで、児童の本への関心を高めることができた。
- ・図書委員会の児童と共に読書月間の設定や読書スタンプラリーの取り組みを行うことで、本に触れる機会を増やすことができた。
- ・各教科における資料収集の依頼や蔵書点検、購入図書や廃棄図書の相談等、学校図書館支援員と校内の図書館担当を中心に連携を取りながら、学校図書館の運営を行うことができた。
- ・教職員や図書ボランティアのおすすめの本の紹介の企画を「図書館だより」で行ったり、読書スタンプラリーなどの読書活動を積極的に行ったりしたことで、低・中学年を中心に貸し出し冊数が大幅に増加し、さまざまな本に触れる機会をつくることができた。しかしながら、高学年児童の貸し出し数はまだまだ少なく、長い文章を読むことへの抵抗感を感じている児童も見受けられる。次年度は、高学年を中心とした読書活動の取組を新たに実施すると共に、授業内でのさまざまな読書指導の方法を教員に示し、指導の改善を図っていくことが必要である。
- ・蔵書の分類の冊数に偏りがあるため、来年度も引き続き国基準に達していない分類を中心に購入を進めていく。
- ・国語科の教科書に掲載されている本を集めたコーナーを、奇数学年の国語の教科書の変更に合わせて更新していく。

**7 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（学校関係者から）**

- ・図書ボランティアによる大お話し会が素晴らしかった。大お話し会で人形劇化された本などを、自分でも借りて読みたがるなど、読書への意欲が高まった。
- ・国語科の教科書に掲載されている本を集めたコーナーが整備され、授業で活用でき、児童も学年に合った本を探すための参考になって良かった。
- ・授業支援のための選書や読み語りなど図書支援員とのやり取りができ、調べ学習リストも分かりやすかった。
- ・学校図書館内のお勧めの本や季節、テーマに沿ったコーナー掲示で本を選ぶ。
- ・新しい本の中にリクエストカードに書いた本があつて、子供が喜んでた。
- ・読書スタンプラリーの企画が良かった。これまでより、子供たちの本を読む時間が増え、いつも読まなかった分類の本を手にとることも増えた。
- ・新年度から貸出の約束について全児童、教職員に確認を行い、未返却が出ないように徹底する。その上で長期休業の間の貸し出しを増やしたり、補習中にも本の貸し出しを行ったりすることで、本に触れる機会を増やしていけるとよい。